

科目名	特別講義 3							年度	2025
英語科目名								学期	前期
学科・学年	放送芸術科 2 年次	必／選	選	時間数	60	単位数	4	種別※	講義
担当教員			教員の 実務経験			実務経験の 職種			
【科目の目的】 現在も現役で活躍されている方をお招きし、生の声を聴くことで将来の自分自身を想像し、今後の学校生活でどのように過ごしていくかを考える。 作品鑑賞から繁樹を受け、感性を磨くことが目的である。									
【科目の概要】 映画鑑賞のほか、番組制作担当者から現場のさまざまな体験談を聞きます。									
【到達目標】 番組制作現場を知ることによって将来の自分を見つめ直し、就職活動に生かすことを目標とする。									
【授業の注意点】 キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。 理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は不合格とする。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	実際の現場で求められる知識や技術を吸収し目標を明確にできた。		実際の現場で求められる知識や技術を吸収できた。		実際の現場で求められる知識や技術を理解する事が出来なかった				
到達目標 B									
到達目標 C									
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									

【参考資料】							
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。自己分析シート提出。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。							
科目名		特別講義 3			年度	2025	
英語表記					学期	前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	特別授業① (映画)		TBD				
2	特別授業① (映画)		TBD				
3	特別授業① (映画)		TBD				
4	特別授業① (映画)		TBD				
5	特別授業① (映画)		TBD				
6	特別授業① (映画)		TBD				
7	特別授業② (放送技術)		TBD				
8	特別授業② (放送技術)		TBD				
9	特別授業② (放送技術)		TBD				
10	特別授業② (放送技術)		TBD				
11	特別授業③ (放送制作)		TBD				
12	特別授業③ (放送制作)		TBD				
13	特別授業③ (放送制作)		TBD				

14	特別授業③ (放送制作)			TBD			
15	特別授業③ (放送制作)			TBD			
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							